



# わたしの家の緊急の連絡先

名前	緊急の連絡先	名前	緊急の連絡先

● **情報の入手先** テレビ、ラジオ、防災行政無線、広報車の他にも自分で情報を手に入れることができます。

種類	情報
電話	防災行政無線テレホンサービス 電話番号【66-1127】
スマートフォン	大野市公式LINE 
登録制メールサービス	大野市防災メール 気象の特別警報や災害時の避難情報などが配信されます。 
メールサービス	Yahoo! 防災速報 <a href="https://emg.yahoo.co.jp/">https://emg.yahoo.co.jp/</a> 
ウェブサイト	気象庁 (大野市の気象警報・注意報) <a href="https://www.jma.go.jp/jp/warn/f_1820500.html">https://www.jma.go.jp/jp/warn/f_1820500.html</a> 
	気象庁 (大雨警報の危険度分布) <a href="https://www.data.jma.go.jp/fcd/yoho/meshjirei/jirei01/suigaimesh/inund.html">https://www.data.jma.go.jp/fcd/yoho/meshjirei/jirei01/suigaimesh/inund.html</a> 
	福井地方気象台 <a href="http://www.jma-net.go.jp/fukui/main/index.html">http://www.jma-net.go.jp/fukui/main/index.html</a> 
	福井県防災ネット <a href="https://www.bousai.pref.fukui.lg.jp/dis_portal/index.html#">https://www.bousai.pref.fukui.lg.jp/dis_portal/index.html#</a> 
福井県河川・砂防総合情報 <a href="http://ame.pref.fukui.jp/index.html">http://ame.pref.fukui.jp/index.html</a> 	
越前おおの結まっぷ 	インターネットの地図で逃げる場所を確かめることができます。

## 緊急の連絡先

名称	連絡先	名称	連絡先
消防・救急	(局番なし) 119	警察	(局番なし) 110
大野市役所	66-1111	北陸電力送配電(株) 奥越配電センター	66-4478
福井県奥越土木事務所	66-1221	NTT西日本(電話故障)	(局番なし) 113
国土交通省 九頭竜川ダム統合管理事務所	66-5300	※携帯電話または市外からは市外局番(0779)をつけておかけください。	

## 災害用伝言ダイヤル(171) 災害時にNTTから提供される「声の伝言板」です。

伝言の録音 → 171 → 1 → □□□□-□□-□□□□ → 伝言を入れる(聞く) 30秒以内

説明がながれます。災害にあった人は家の電話番号を、災害で被害にあった地域以外の方は災害で被害にあった地域の方の電話番号を市外局番からおす。

伝言の再生 → 171 → 2 → □□□□-□□-□□□□ →

災害用伝言ダイヤル(171) 試すことができる日

- 毎月1日、15日 0:00~24:00
- 正月三日(1月1日0:00~1月3日24:00)
- 防災週間(8月30日9:00~9月5日17:00)
- 防災とボランティア週間(1月15日9:00~1月21日17:00)

## 災害用伝言板 (web171)

インターネットで登録や確かめることができます。  
<https://www.web171.jp> にアクセスしてください。

災害用伝言板 (web171)  検索

各社の災害用伝言板 サイトアドレス

- NTTドコモ 
- au 
- ソフトバンク 

**故郷の 越前おおの**

発行：大野市企画総務部防災防犯課  
 〒912-8666 福井県大野市天神町1-1  
 TEL:0779-64-4800 FAX:0779-66-7708  
 大野市ホームページ <http://www.city.ono.fukui.jp/>



# 大野市 総合防災マップ

ハザードマップ

保存版



**ひどろの準備と早く逃げること! 近くの人にも声をかけて!!**

## わたしの家族の逃げ方

台風や地震などの準備としてハザードマップ(危険な場所の地図)を見ながら家族で話し合ってください。なみ線のところに話し合ったことを書いてください。垂直避難(高いところに逃げる) 水平避難(逃げる)は1ページ 避難所(逃げる場所)の内容は2ページで確認してください。

### 台風や大雨のとき

台風が近づいたり雨が強いときは、テレビ・ラジオ・インターネットで情報を調べます。

台風や大雨についての情報を集めて、危ないと思ったら、大野市から逃げる情報をきいたら、

外に出ずに家にいる。水が来たら垂直(高い所へ逃げる)避難します。

へ水平避難します。

**逃げる場所**

水平避難のときに危ないと思ったら、へすぐに垂直(高い所へ逃げる)避難します。

水平避難のときに危ないと思ったら、へ行きます。

**別の逃げる場所**

### 地震のとき

緊急地震速報を聞いたり、地震を感じたら、机の下に隠れたりして身を守ります。

命が危ないと思ったら、へ水平避難します。

**急いで逃げる場所**

家が壊れてしまって、暮らすことができないときは、へ行きます。

**逃げる場所**

● ハザードマップ(危険な場所の地図)の使いかた

ハザードマップのみかた

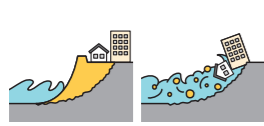
自分の家のまわりがどうなっているか、ハザードマップで見てください。  
下の3つにあてはまらなければ、台風や大雨のときは外に出ずに家にいることもできます。

- ① 氾濫流(はんらんりゅう)や河岸侵食(がんしんしょく)に入りますか?
- ② 自分の家にどれくらいの水がきますか?
- ③ 水が少なくなるまでどれくらい時間がかかりますか?

これは家屋倒壊等氾濫想定区域と言われ、危険なところです。

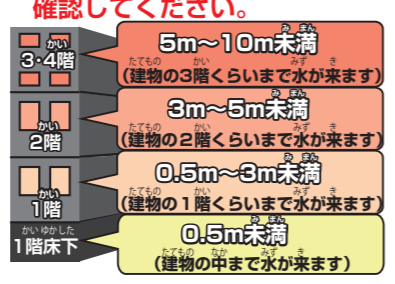


このところは、水の流れが早く、建物も流れてしまうかもしれません。

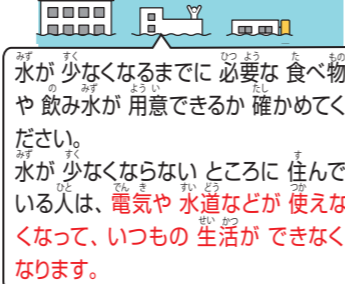


このところは、地面が水で削られ、建物ごと倒れてしまうかもしれません。

部屋の高さよりも深い水がくるか確認してください。



水が少なくなるまでどれくらい時間がかかりますか



(災害がおきたらどうなりますか、表紙の写真をよく考えておきましょう)

避難の原則

台風・大雨・地震のときに大事なことは、いまがどんな状況なのか、よく見て、よく考えて、自分で行動すること

水平避難

と垂直避難

「避難(逃げること)」には、二種類あることを知ってください。

● 水平避難

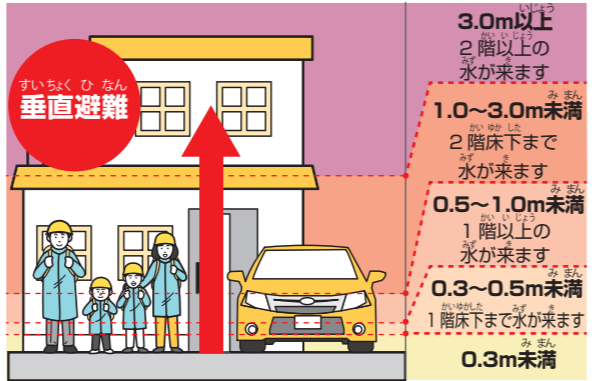
危険なところから安全なところへ行くことを水平避難と言います。避難の基本は、水平避難です。

● 垂直避難

近くのマンションなど、高い建物の上の階に避難することを垂直避難と言います。避難するときに外が暗かったり、家を出たときに水があふれていたりすると、水平避難すると危険です。垂直避難することを考えてください。

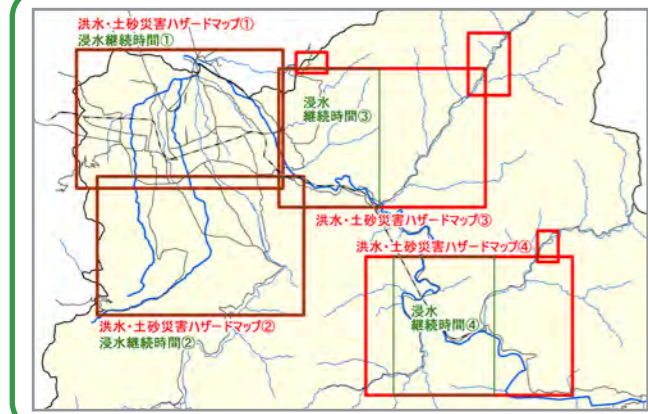
ただし、「ハザードマップのみかた」で3つのどれかに当てはまる場所に住んでいる人は、必ず安全なところへ水平避難してください。

がけが崩れて、外に出ることが危ないときは、丈夫な建物でがけから一番遠い2階より上の部屋に移動してください。



※大野市の浸水深の目安

● ハザードマップの場所



このハザードマップ(危険な場所の地図)は、台風や地震などが起こったときの危険なところを地図に書いています。水があふれる災害である洪水や大きな石が落ちたり、地すべり、土石流などの土砂災害、雪がくずれ落ちる災害である雪崩の災害です。大野市に住んでいる人は、自分の家が安全か確かめてください。

台風や地震のときにどうすればいいか、3ページを見ながら、家族で話し合ってください。

● 避難所等一覧

指定避難所

災害のときに、安全が確かめるまでの間や、家が壊れて帰れなくなった人がいるところ。※すべての災害で避難所が開かれるとは限りません。大野市からの情報を確かめてください。

施設名	TEL	風水害	土砂災害	なだれ	地震
学びの里「めいりん」	65-5590	○	○	×	○
まちなか交流センター	64-4817	×	○	○	○
有終南小学校	65-6690	○	○	○	○
有終東小学校	65-6550	2F	○	○	○
開成中学校	65-4680	○	○	○	○
文化会館	66-5410	2F	○	○	×
職業訓練センター	65-6840	2F	○	○	○
Eキサイト広場総合体育施設	66-1433	2F	○	○	○
下庄公民館	66-2142	○	○	○	○
下庄小学校	66-2350	○	○	○	○
陽明中学校	65-1121	○	○	○	○
青少年教育センター	66-6650	2F	○	○	○
乾側公民館	66-3756	2F	○	○	○
乾側小学校	-	×	○	○	×
小山公民館	66-2468	○	○	○	○
小山小学校	66-2910	○	○	○	○
上庄公民館	64-1200	2F	○	○	○

○…使用可能施設 2F…浸水が予想されるが、2階以上が避難可能  
△…ダムの上流の緊急放流の時には使用不可 ×…使用不可

指定避難所(予備施設)

施設名	TEL	風水害	土砂災害	なだれ	地震
あっ宝んど	66-7900	×	○	○	○
スターランドさかだに	67-7250	○	○	○	○
ミルク工房 奥越前	67-1166	○	○	○	○

※携帯電話または市外からは市外局番(0779)をつけておかけください。

福祉避難所

災害のときにほかの人の助けが欲しい人(からだか自由に動かない人や赤ちゃん)のための避難所。

施設名	TEL	風水害	土砂災害	なだれ	地震
福井県済生会聖和園	66-3307	○	○	○	○
大野和光園	66-2551	○	○	○	○
ビハラー大野	66-1850	○	○	○	○
大野荘	66-3320	○	○	○	○
むつみ園	65-3761	○	○	○	○

※社会福祉施設管理者等と協議を行い開設します。

指定緊急避難場所

地震などの災害から身を守るために行く安全なところ。

施設名	風水害	土砂災害	なだれ	地震
山王公園	×	○	○	○
神明公園	×	○	○	○
三角公園	×	○	○	○
駅東公園	×	○	○	○
春日公園	×	○	○	○
弥生公園	×	○	○	○
寺前公園	×	○	○	○
陽明公園	×	○	○	○
荒井公園	×	○	○	○
さくら公園	×	○	○	○
中挾公園	×	○	○	○
清和公園	×	○	○	○
美里公園	×	○	○	○
吉野公園	×	○	○	○
資母郷公園	×	○	○	○
右近次郎公園	○	○	○	○
きよたき公園	×	○	○	○
中ノ堂公園	×	○	○	○


※令和3年度開駅予定

● 台風や大雨のときは どうすればいいか

■ 家族で話し合いをして避難を決めてください

**家のまわりを確かめる**

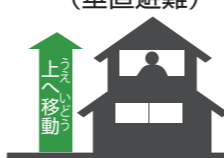
ハザードマップで色が塗られているところは、大雨のときは危ないところ。色が塗られていますか。



**そのまま家にいる**

「避難」とは「難(わざわい)」を「避」けることで、安全なところにいる人は、別のところに行く必要はありません。家にいると人から人にうつる病気の危険から身を守ることができます。

↑↑↑移動



いいえ

はい

**いつ、どこへ避難？**

ハザードマップで色が塗られているところにいるときは、水平避難が基本です。どこに行くか、よく考えておきましょう。どこへ行くかは、2ページの指定避難所を基本にします。安全なところに住んでいる知っている人の家に行くこともできます。危ない時にほかの人の助けが欲しい人や赤ちゃんが家族にいますか？安全なところに住んでいて災害のときに行くことができる親せきはいますか？

**次のことを考えておこう**

**逃げるときにどこに行く？**

避難所等	良いところ	良くないところ
<ul style="list-style-type: none"> <li>みんなでいっしょに生活するので、病気がうつることがある</li> <li>ペットの世話が難しい</li> <li>他の人がいるので迷惑にならないように気を付けるなど</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>食糧や飲み物が欲しい</li> <li>電気や水道などが止まるかもしれません</li> <li>病気がなったときにすぐに助けることができない</li> <li>新しい情報が分かりにくいなど</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※良くないところを確認して、一番いい避難所はどれか話し合ってください。</li> <li>※この他にもホテルや車、テントなどを使って逃げても良いです。</li> </ul>
自宅	良いところ	良くないところ
<ul style="list-style-type: none"> <li>長い間いると迷惑になる</li> <li>自分の家から遠いときは、家に戻るとき大変など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>食糧や飲み物が欲しい</li> <li>電気や水道などが止まるかもしれません</li> <li>病気がなったときにすぐに助けることができない</li> <li>新しい情報が分かりにくいなど</li> </ul>	
知り合いの家など	良いところ	良くないところ
<ul style="list-style-type: none"> <li>長い間いると迷惑になる</li> <li>自分の家から遠いときは、家に戻るとき大変など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>食糧や飲み物が欲しい</li> <li>電気や水道などが止まるかもしれません</li> <li>病気がなったときにすぐに助けることができない</li> <li>新しい情報が分かりにくいなど</li> </ul>	

●外に出るときはマスクをつける。逃げる場所に行くときは体温計を持っていく。  
●石けんを使って手洗いなどをしっかりしてください。

● 避難する前に どうすればいいの？

**自分で調べ 考えて 逃げる**

避難情報  
気象情報  
土砂災害警戒情報  
河川水位情報  
ダム放流情報



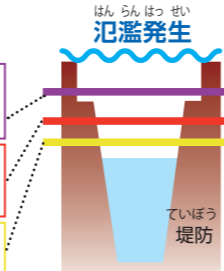
**避難は災害がおきる前に二人以上で歩いて避難する**

災害のときは歩いて逃げよう。夜は電気が消えたりして真っ暗になり危ないので、暗くなる前に移動してください。

**河川の水位情報**

氾濫危険水域  
避難判断水位  
氾濫注意水位

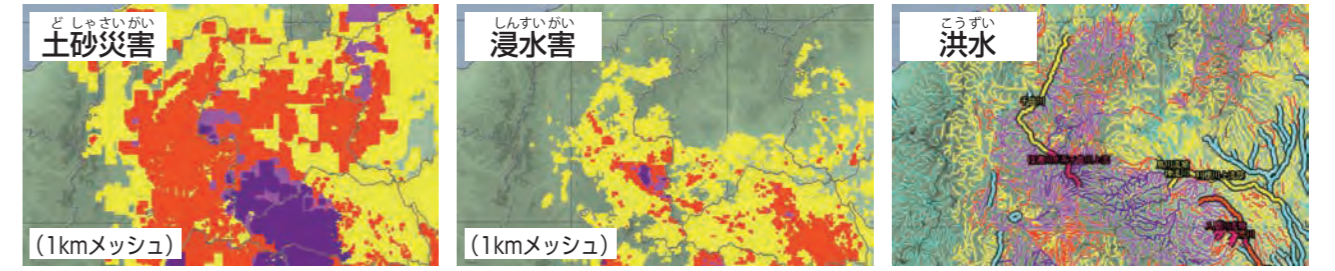
河川	九頭竜川	清滝川	赤根川	石徹白川
観測所	松丸	南新在家	大橋	貝皿
氾濫危険水域	5.00m	2.80m	3.00m	5.00m
避難判断水位	—	2.00m	2.50m	—
氾濫注意水位	4.00m	1.50m	2.20m	3.00m
水防団待機水位	3.00m	1.20m	1.90m	1.40m



● 大雨のときの情報

■ 家のまわりの様子を確かめましょう

大野市内が危ないとされる警戒レベル相当情報が発表されたら、大野市の様子がわかる情報(危険度分布)を見てください。地図のむらさき色のところは危ないところです。住んでいるところを登録しておけば、家の近くが危なくなったら自動的にスマートフォンなどに連絡される「危険度分布通知サービス」もあります。よく知っているひとに聞いて使ってください。





むらさき：がけや谷川の近くは危ない  
むらさき：土地が低いところ  
むらさき：河川の近くは危ない

■ 防災気象情報に注意しましょう ※警戒レベルは1～5の順番で発表になるとは限りません。

警戒レベル	取るべき行動	大野市が出す逃げる情報	気象庁が出す雨の情報	国土交通省などが出す川の情報
レベル5	命を守るために動く すでに災害が起こっている状況で、命を守るために動くこと。	緊急安全確保	大雨特別警戒	氾濫発生情報
レベル4	危ない場所から全員逃げる ・急いで逃げる。 ・命を守るために安全にする。	避難指示	土砂災害警戒情報	氾濫危険情報
レベル3	年をとった人などは逃げる ・年をとった人など、逃げるのに時間がかかってしまう人は逃げる。 ・その他の人は、逃げる用意をする。	高齢者等避難	大雨警戒 洪水警戒	氾濫警戒情報
レベル2	逃げかたを確かめる ・ハザードマップなどを見て、危ないところや逃げる場所、逃げるときに使う道、いつ逃げるかを確かめる。 ・逃げるときに必要な情報を確かめる。		大雨注意報 洪水注意報	氾濫注意情報
レベル1	災害が来るとしておく ・新しい防災情報などを確かめる。			

※避難情報は変わることがあります。ホームページなど新しい情報を確かめてください。

● 雨の降り方と強さ(1時間あたり)

<p><b>少し強い雨</b> 10~20mm未満</p>  <p>話し声が聞こえにくくなります。長く雨が降りそうなきときは注意してください。</p>	<p><b>強い雨</b> 20~30mm未満</p>  <p>とてもげいしい雨。傘をさしていても、ぬれてしまうくらいの雨。小さな川なら水があふれたり、がけが崩れたりする心配があります。</p>	<p><b>とても強い雨</b> 30~50mm未満</p>  <p>山やがけが崩れやすくなります。逃げる準備をしましょう。</p>	<p><b>とてもとても強い雨</b> 50~80mm未満</p>  <p>滝のように雨が降り、あたりが水しぶきで白っぽくなります。傘が役に立たなくなるとても強い雨です。</p>	<p><b>猛烈な雨</b> 80mm以上</p>  <p>すごい雨で怖く感じます。大雨で大きな災害が起こるかもしれません。とくに注意が必要です。</p>
--	--	---	--	--

## 洪水・土砂災害ハザードマップ① (1000年に一度おきるくらいのとても強い雨が降ったときに)

水があふれる範囲をしめす地図です

- 消防
- 指定避難所
- 福祉避難所
- 市役所
- ふくいのおいしい水(湧水地)
- 警察
- 救急病院

- 雨量観測所
- 水位観測所
- 河川監視カメラ
- 重要水防区域
- ため池浸水想定区域
- 土砂災害特別警戒区域(急傾斜地の崩壊)
- 土砂災害警戒区域(急傾斜地の崩壊)
- 土砂災害警戒区域(土石流)
- 土砂災害警戒区域(地すべり)
- 土砂災害特別警戒区域(土石流)

- なだれ危険箇所

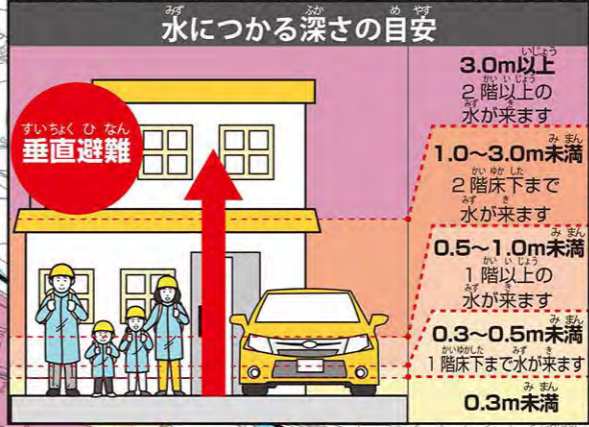
0 500 1,000m  
1:25,000

このハザードマップ(危険な場所の地図)は、水があふれる災害である洪水や地すべり、土石流など土砂災害で危ないところを示しています。1ページのハザードマップのみかたを参考に家などに影響があるかを確認して危ない時にすべきことを確認してください。

**洪水浸水想定区域図**  
法律(水防法)によって決められた川(洪水予報河川と水位周知河川)があふれたときに水につかると思われるところと水の深さ、浸水継続時間(水につかっている時間)、家屋倒壊等氾濫想定区域(水のながれによって建物に被害がでる危ないところ)を載せた図です。

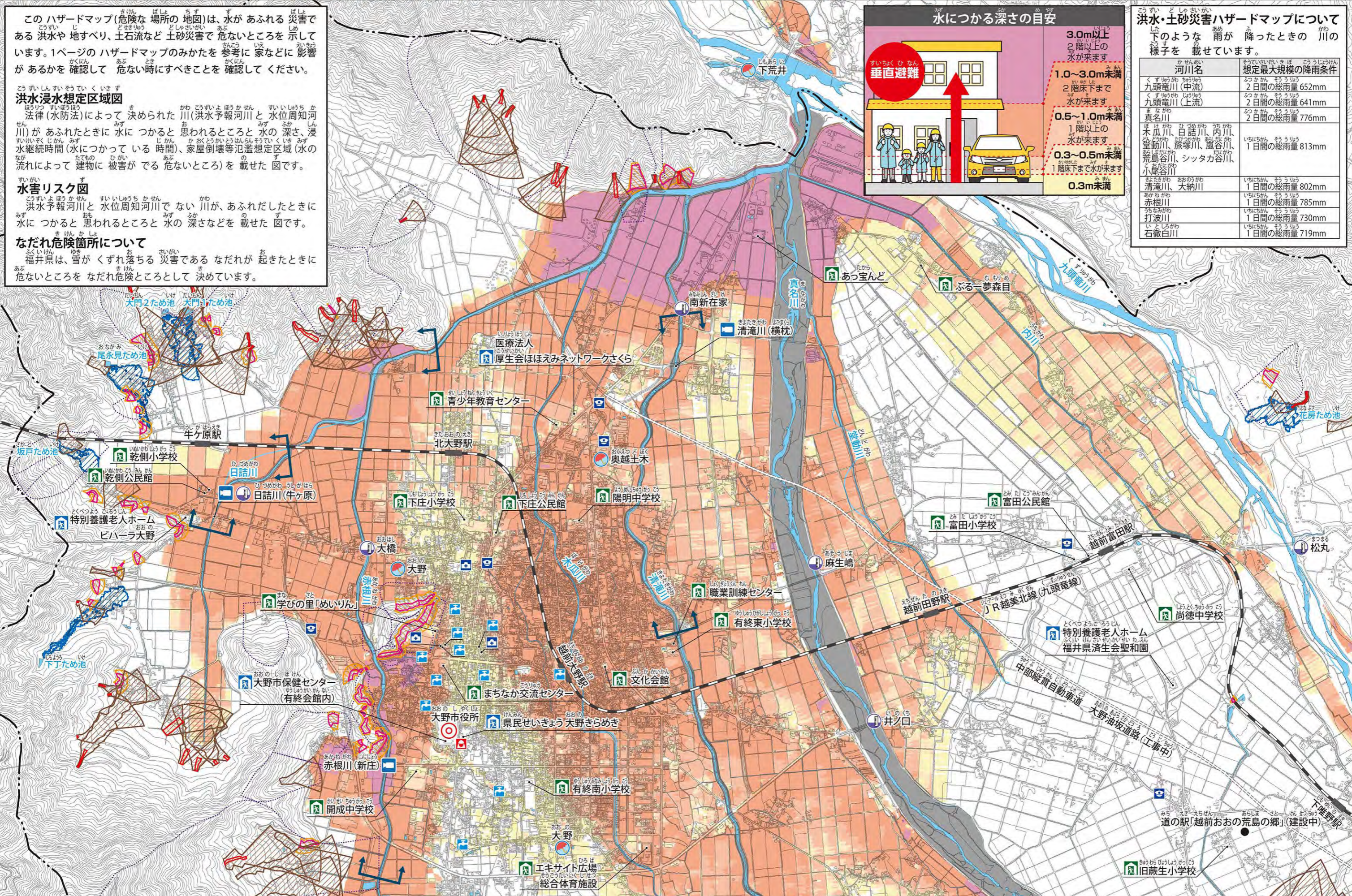
**水害リスク図**  
洪水予報河川と水位周知河川でない川があふれたときに水につかると思われるところと水の深さなどを載せた図です。

**なだれ危険箇所について**  
福井県は、雪がぐずれ落ちる災害であるなだれが起きたときに危ないところをなだれ危険箇所として決めています。



洪水・土砂災害ハザードマップについて  
下のような雨が降ったときの川の様子を載せています。

河川名	想定最大規模の降雨条件
九頭竜川(中流)	2日間の総雨量 652mm
九頭竜川(上流)	2日間の総雨量 641mm
真名川	2日間の総雨量 776mm
木瓜川、白詰川、内川、木戸川、旅塚川、嵐谷川、堂助川、シツカカ谷川、荒島谷川、小尾谷川	1日間の総雨量 813mm
清滝川、大納川	1日間の総雨量 802mm
赤根川	1日間の総雨量 785mm
打波川	1日間の総雨量 730mm
石徹白川	1日間の総雨量 719mm



## 浸水継続時間① (水防法で決められた水につかっている時間を載せた図です)

### 浸水継続時間について

この地図では、川からあふれた水の深さが0.5mになってから、その深さより下がるまでにかかる時間を載せています。水につかっている時間が長いところの人は、その期間を過ごすために必要なものを貯めておくなどの準備してください。

水害リスク図では、洪水のときの水につかる範囲や水の深さを載せています。川によっては、浸水が続く時間や家の倒壊(壊れる)等 氾らん(あふれること)想定区域を知らせていない川もあります。

浸水継続時間を公表している河川	浸水継続時間を公表していない河川
九頭竜川、真名川、清滝川(下流)、あながわ川、赤根川	清滝川(上流)、木瓜川、日詰川、内川、ひんどう川、なげがわ川、あらしなが川、堂動川、旅塚川、打波川、嵐谷川、荒島谷川、シツカカ谷川、小尾谷川、大納川、石巻白川

- 消防
- ふくいのおいしい水(湧水地)
- 指定避難所
- 福祉避難所
- 市役所
- 緊急病院
- 雨量観測所
- 水位観測所
- 河川監視カメラ
- 重要水防区域

- ため池浸水想定区域
- 土砂災害特別警戒区域(急傾斜地の崩壊)
- 土砂災害警戒区域(急傾斜地の崩壊)
- 土砂災害警戒区域(地すべり)
- 土砂災害特別警戒区域(土石流)
- 土砂災害警戒区域(土石流)
- なだれ危険箇所

0 500 1,000m

1:25,000

### 家屋倒壊等氾濫想定区域について

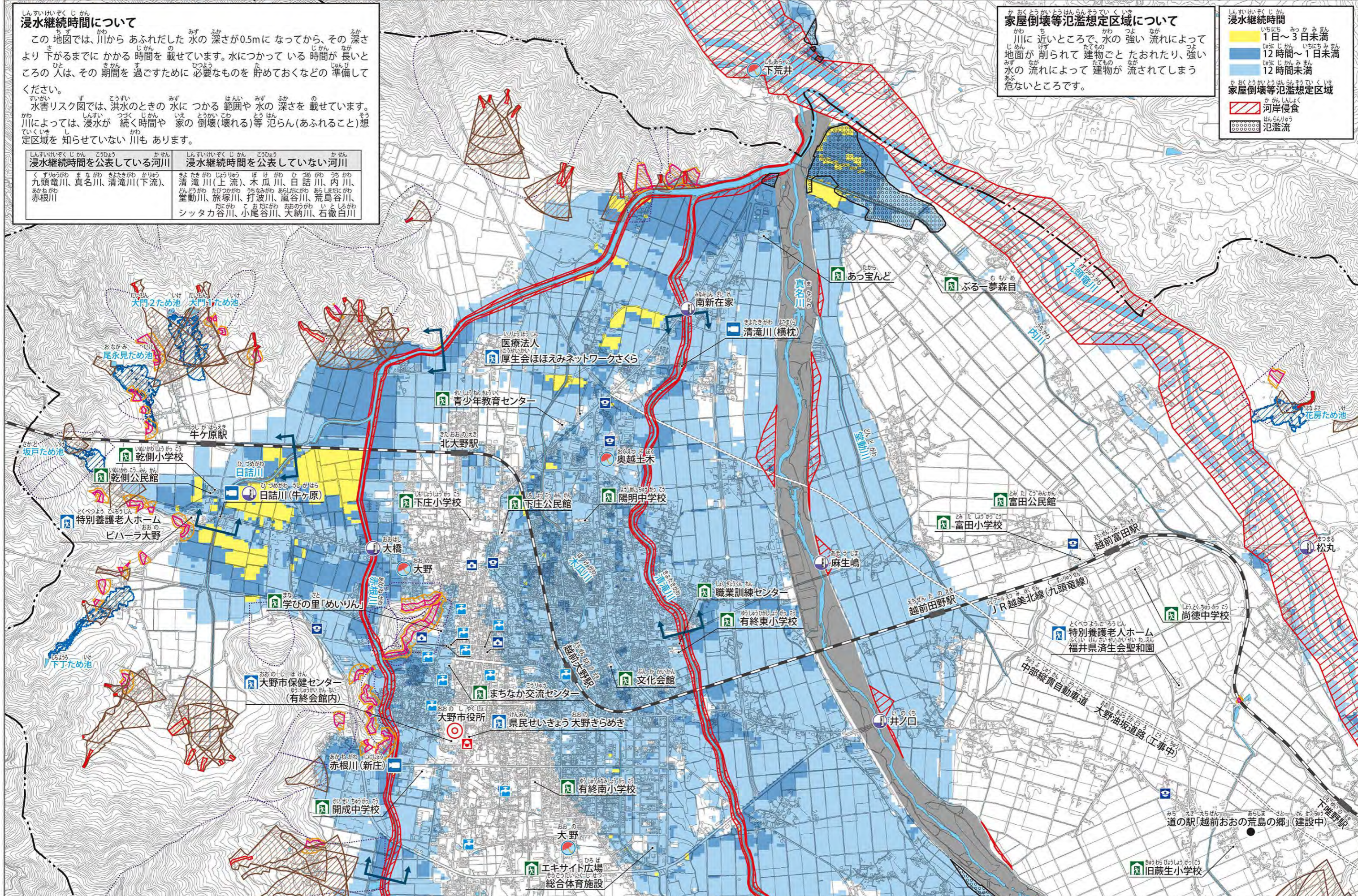
川に近いところで、水の強い流れによって地面が削られて建物ごとたおれたり、強い水の流れによって建物が流されてしまう危険なところです。

**浸水継続時間**

- 1日~3日未満
- 12時間~1日未満
- 12時間未満

**家屋倒壊等氾濫想定区域**

- 河岸侵食
- 氾濫流



## 洪水・土砂災害ハザードマップ② (1000年に一度おきるくらいのとても強い雨が降ったときに)

水があふれる範囲をしめす地図です

消防

ふくいのおいしい水(湧水地)

警察

救急病院

指定避難所

福祉避難所

市役所

雨量観測所

水位観測所

河川監視カメラ

重要水防区域

ため池浸水想定区域

土砂災害特別警戒区域(急傾斜地の崩壊)

土砂災害警戒区域(急傾斜地の崩壊)

土砂災害警戒区域(土石流)

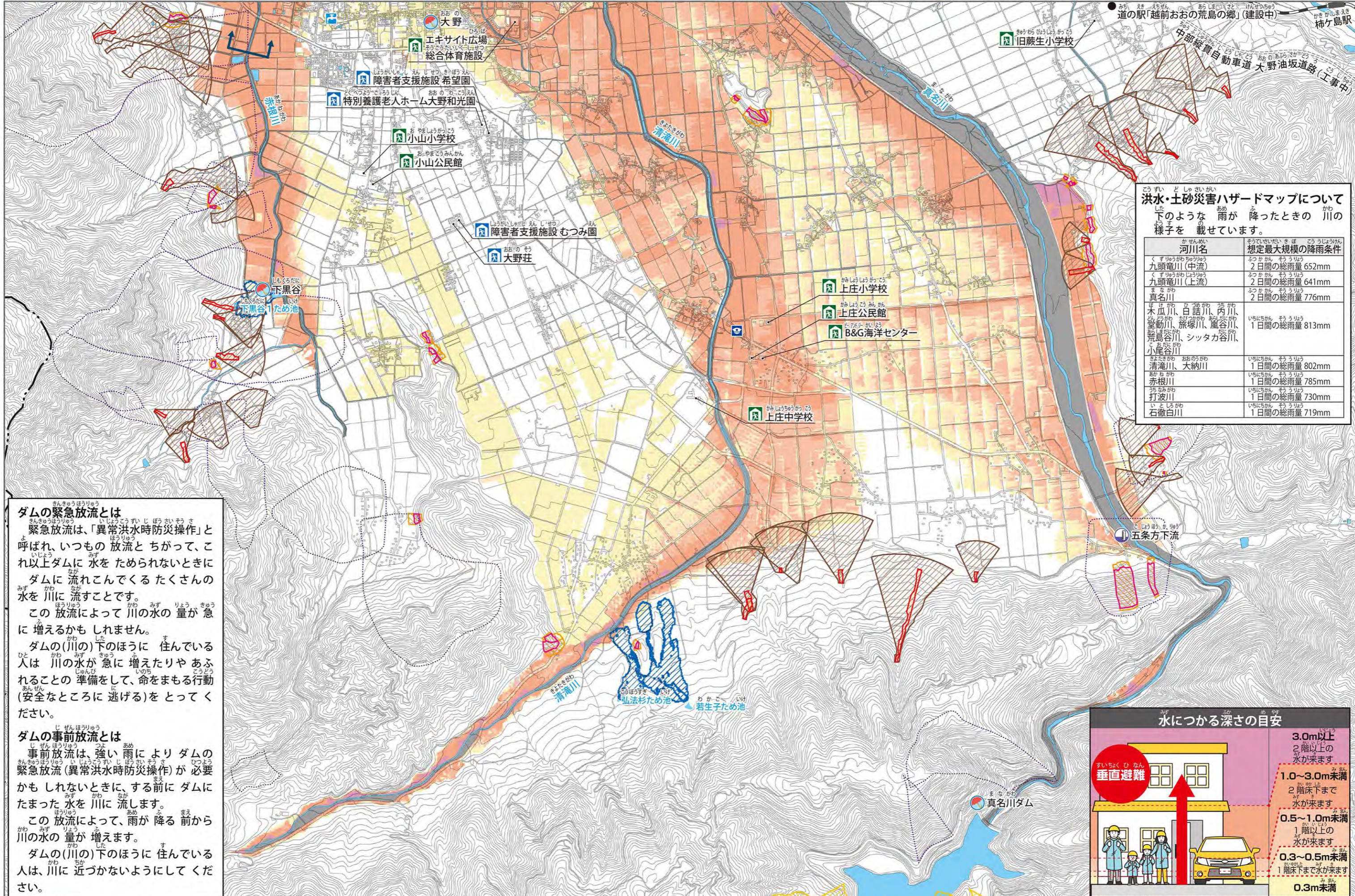
土砂災害警戒区域(地すべり)

土砂災害特別警戒区域(土石流)

なだれ危険箇所

0 500 1,000m

1:25,000



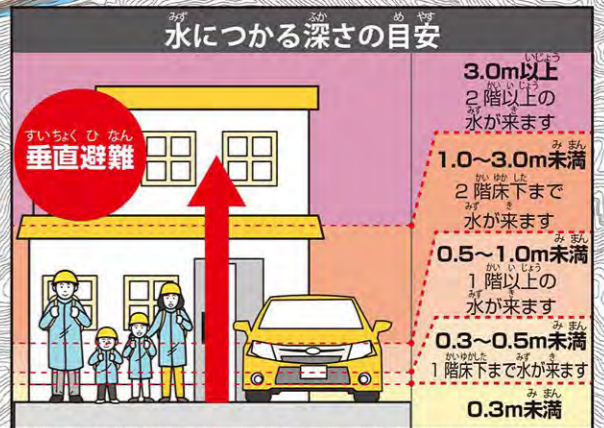
### 洪水・土砂災害ハザードマップについて

下のような雨が降ったときの川の様子を載せています。

河川名	想定最大規模の降雨条件
九頭竜川(中流)	2日間の総雨量 652mm
九頭竜川(上流)	2日間の総雨量 641mm
真名川	2日間の総雨量 776mm
木瓜川、白話川、内川、堂動川、旅塚川、嵐谷川、荒島谷川、シッタカ谷川、小尾谷川	1日間の総雨量 813mm
清滝川、大納川	1日間の総雨量 802mm
赤根川	1日間の総雨量 785mm
打波川	1日間の総雨量 730mm
石徹白川	1日間の総雨量 719mm

**ダムの緊急放流とは**  
緊急放流は、「異常洪水時防災操作」と呼ばれ、いつもの放流とちがって、これ以上ダムに水をためられないときにダムに流れこんでくるたくさんの水を川に流すことです。この放流によって川の水量が急に増えるかもしれません。ダムの(川)の下の方に住んでいる人は、川の水が急に増えたりやあふれることの準備をして、命をまもる行動(安全なところに逃げる)をとってください。

**ダムの事前放流とは**  
事前放流は、強い雨によりダムの緊急放流(異常洪水時防災操作)が必要かもしれないときに、する前にダムにたまった水を川に流します。この放流によって、雨が降る前から川の水量が増えます。ダムの(川)の下の方に住んでいる人は、川に近づかないようにしてください。



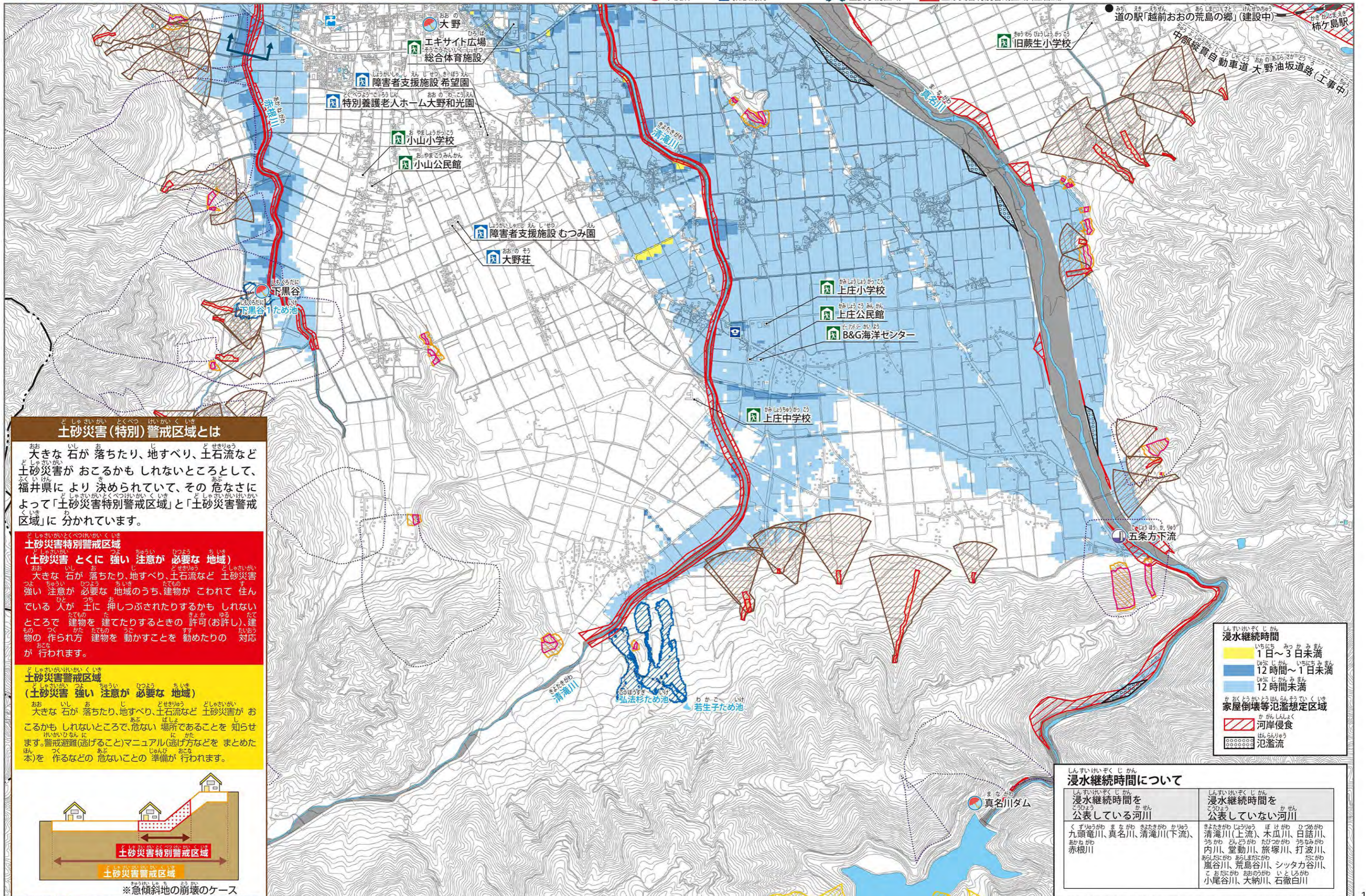
浸水継続時間② (水防法で決められた水につかっている時間を載せた図です)

消防 ふくいのおいしい水(湧水地) 雨量観測所 水位観測所 河川監視カメラ 重要水防区域 ため池浸水想定区域 土砂災害特別警戒区域(急傾斜地の崩壊) 土砂災害警戒区域(急傾斜地の崩壊) 土砂災害警戒区域(土石流) 土砂災害警戒区域(地すべり) なだれ危険箇所

指定避難所 福祉避難所 市役所 救急病院

0 500 1,000m

1:25,000



### 土砂災害(特別)警戒区域とは

大きな石が落ちたり、地すべり、土石流など土砂災害がおこるかもしれないところとして、福井県により決められていて、その危なさによって「土砂災害特別警戒区域」と「土砂災害警戒区域」に分かれています。

**土砂災害特別警戒区域 (土砂災害とくに強い注意が必要な地域)**  
 大きな石が落ちたり、地すべり、土石流など土砂災害強い注意が必要な地域のうち、建物がこわれて住んでいる人が土に押しつぶされたりするかもしれないところで建物を建てたりするときの許可(お許し)、建物の作られ方、建物を動かすことを勧めたりの対応が行われます。

**土砂災害警戒区域 (土砂災害強い注意が必要な地域)**  
 大きな石が落ちたり、地すべり、土石流など土砂災害がおこるかもしれないところで、危険な場所であることを知らせます。警戒避難(逃げる)マニュアル(逃げ方などをまとめた本)を作るなどの危険なことの準備が行われます。

※急傾斜地の崩壊のケース

### 浸水継続時間

1日~3日未滿  
12時間~1日未滿  
12時間未滿

家屋倒壊等氾濫想定区域  
河岸侵食  
氾濫流

### 浸水継続時間について

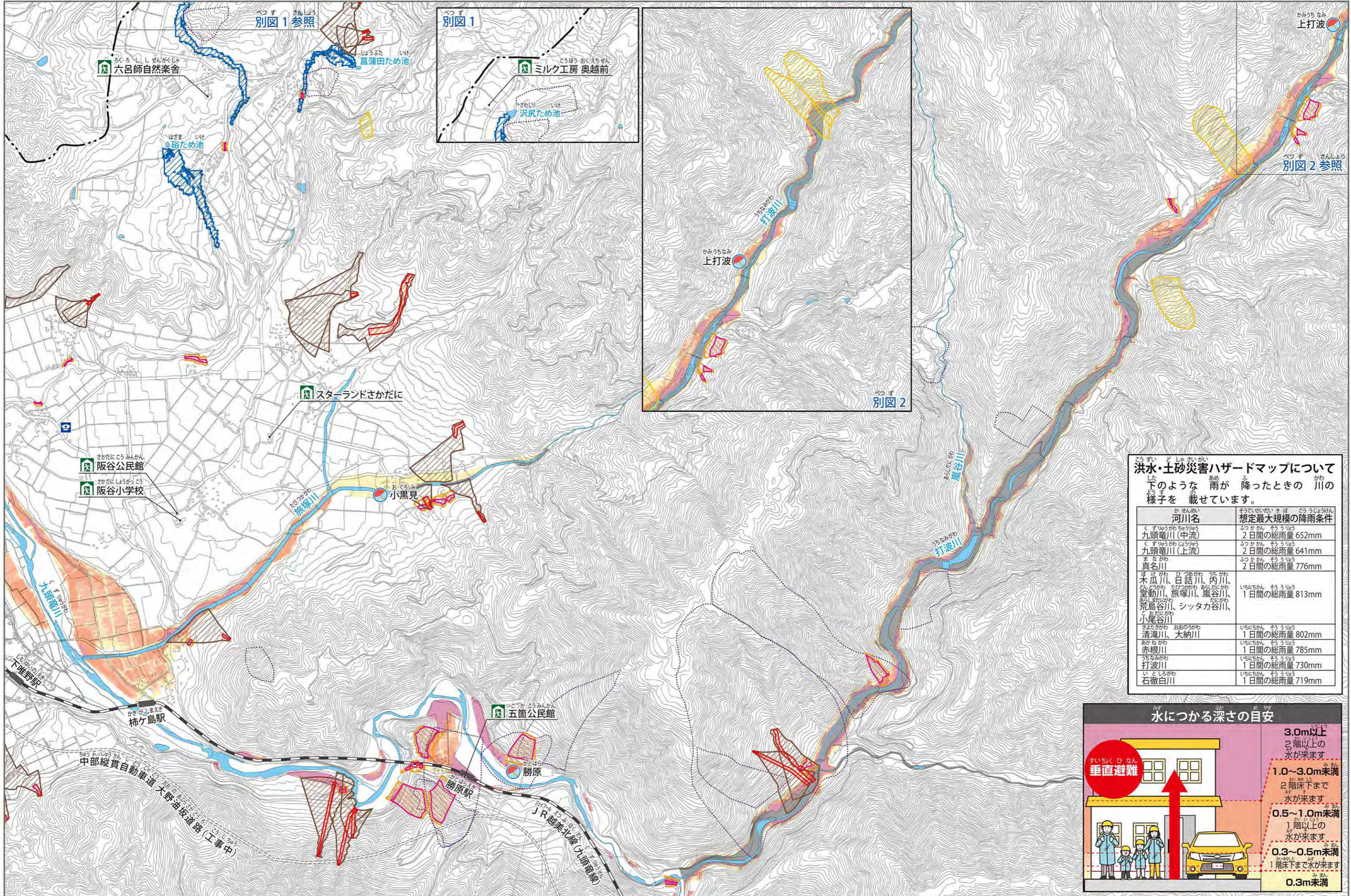
浸水継続時間を公表している河川	浸水継続時間を公表していない河川
九頭竜川、真名川、清滝川(下流)、赤根川	清滝川(上流)、木瓜川、日詰川、うちかわ、びんどう、たづな川、うちなかわ、内川、堂動川、旅塚川、打波川、おらしたにがわ、あしまたにがわ、いんがわ、蘆谷川、荒島谷川、シツカカ谷川、こおらにがわ、おらにがわ、いとらがわ、小尾谷川、大納川、石徹白川

## 洪水・土砂災害ハザードマップ③ (1000年に一度おきるくらいのとても強い雨が降ったときに)

水があふれる範囲をしめす地図です

消防	雨量観測所	ため池浸水想定区域	土砂災害警戒区域(土石流)
指定避難所	水位観測所	土砂災害特別警戒区域(急傾斜地の崩壊)	土砂災害警戒区域(地すべり)
福祉避難所	河川監視カメラ	土砂災害警戒区域(急傾斜地の崩壊)	なだれ危険箇所
市役所	重要水防区域	土砂災害特別警戒区域(土石流)	

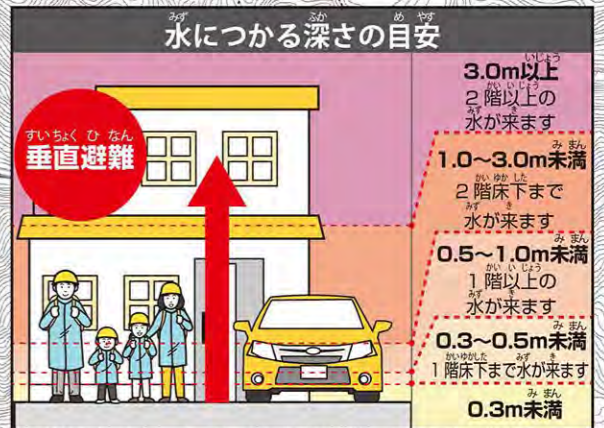
0 500 1,000m  
1:25,000



### 洪水・土砂災害ハザードマップについて

下のよう な 雨が 降ったときの 川の 様子を 載せています。

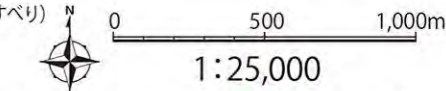
河川名	想定最大規模の降雨条件
九頭竜川(中流)	2日間の総雨量 652mm
九頭竜川(上流)	2日間の総雨量 641mm
真名川	2日間の総雨量 776mm
木瓜川、白話川、内川、堂動川、旅塚川、風谷川、荒島谷川、シッタカ谷川、小尾谷川	1日間の総雨量 813mm
清滝川、大納川	1日間の総雨量 802mm
赤根川	1日間の総雨量 785mm
打波川	1日間の総雨量 730mm
石徹白川	1日間の総雨量 719mm





## 洪水・土砂災害ハザードマップ④ (1000年に一度おきるくらいのとても強い雨が降ったときに) 水があふれる範囲をしめす地図です

消防 火のにおいしい水(湧水地) 警察 救急病院  
 雨量観測所 水位観測所 河川監視カメラ 重要水防区域  
 指定避難所 福祉避難所 市役所  
 ため池浸水想定区域 土砂災害特別警戒区域(急傾斜地の崩壊) 土砂災害警戒区域(急傾斜地の崩壊) 土砂災害警戒区域(土石流) 土砂災害特別警戒区域(土石流)  
 土砂災害警戒区域(土石流) 土砂災害警戒区域(地すべり) なだれ危険箇所



洪水・土砂災害ハザードマップについて  
 下のような雨が降ったときの川の様子を載せています。

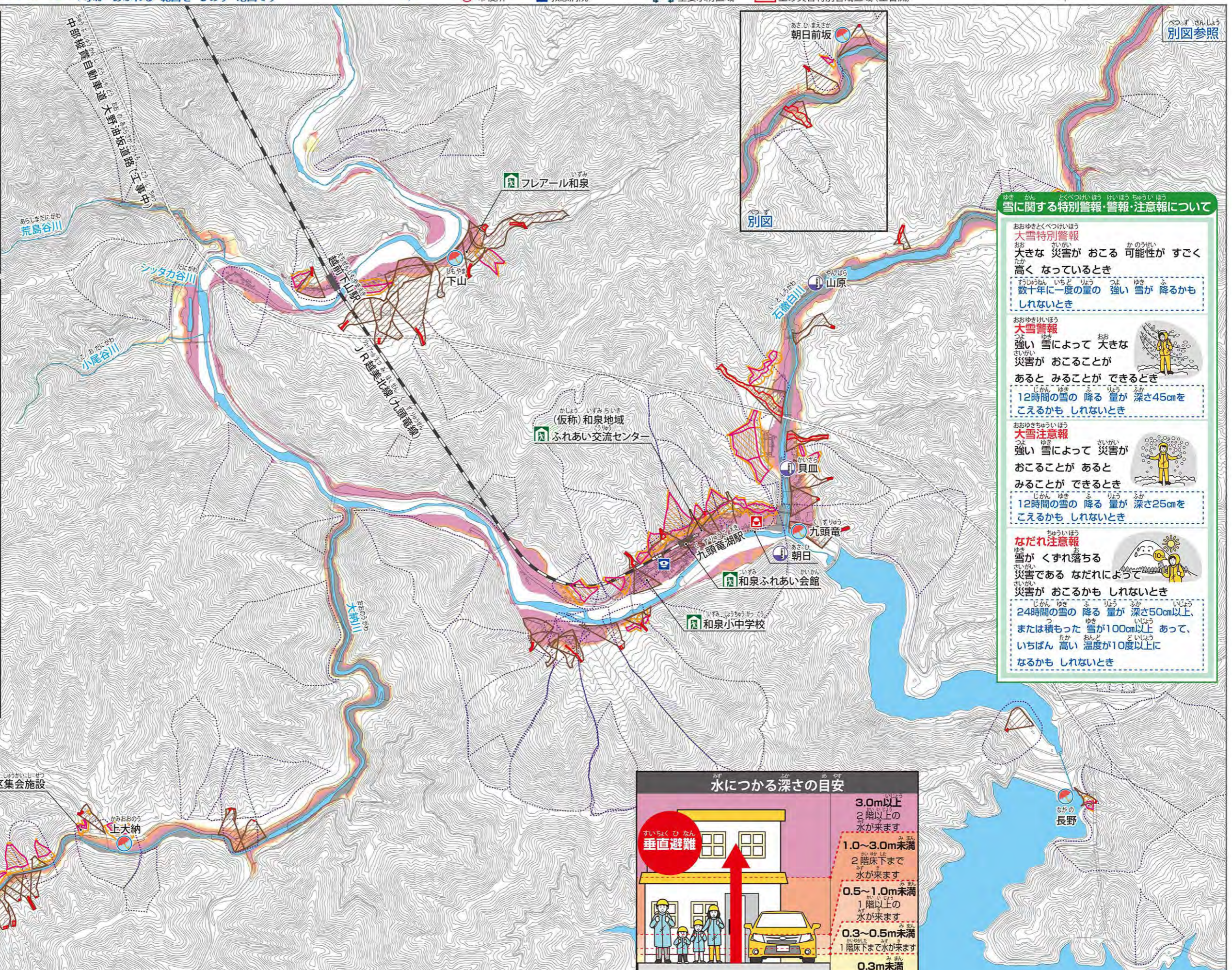
河川名	想定最大規模の降雨条件
九頭竜川(中流)	2日間の総雨量 652mm
九頭竜川(上流)	2日間の総雨量 641mm
真名川	2日間の総雨量 776mm
木瓜川、白詰川、内川、堂動川、旅塚川、嵐谷川、荒島谷川、シッタカ谷川、小尾谷川	1日間の総雨量 813mm
清滝川、大納川	1日間の総雨量 802mm
赤根川	1日間の総雨量 785mm
打波川	1日間の総雨量 730mm
石徹白川	1日間の総雨量 719mm

### ダムの緊急放流とは

緊急放流は、「異常洪水時防災操作」と呼ばれ、いつもの放流とちがって、これ以上ダムに水をためられないときにダムに流れこんでくるたくさんの水を川に流すことです。この放流によって川の水の量が急に増えるかもしれません。ダムの(川の)下のほうに住んでいる人は川の水が急に増えたりあふれることの準備をして、命をまもる行動(安全なところに逃げる)をとってください。

### ダムの事前放流とは

事前放流は、強い雨によりダムの緊急放流(異常洪水時防災操作)が必要かもしれないときに、する前にダムにたまった水を川に流します。この放流によって、雨が降る前から川の水の量が増えます。ダムの(川の)下のほうに住んでいる人は、川に近づかないようにしてください。



### 雪に関する特別警報・警報・注意報について

**大雪特別警報**  
 大きな災害がおこる可能性がすごく高くなっているとき  
 数十年に一度の量の強い雪が降るかもしれないとき

**大雪警報**  
 強い雪によって大きな災害がおこることがあるとき  
 12時間の雪の降る量が深さ45cmをこえるかもしれないとき

**大雪注意報**  
 強い雪によって災害がおこることがあるとき  
 12時間の雪の降る量が深さ25cmをこえるかもしれないとき

**なだれ注意報**  
 雪がくずれ落ちる災害であるなだれによって災害がおこるかもしれないとき  
 24時間の雪の降る量が深さ50cm以上、または積もった雪が100cm以上あって、いちばん高い温度が10度以上になるかもしれないとき

### 水につかる深さの目安

**3.0m以上**  
 2階以上の水が来ます

**1.0~3.0m未満**  
 2階床下まで水が来ます

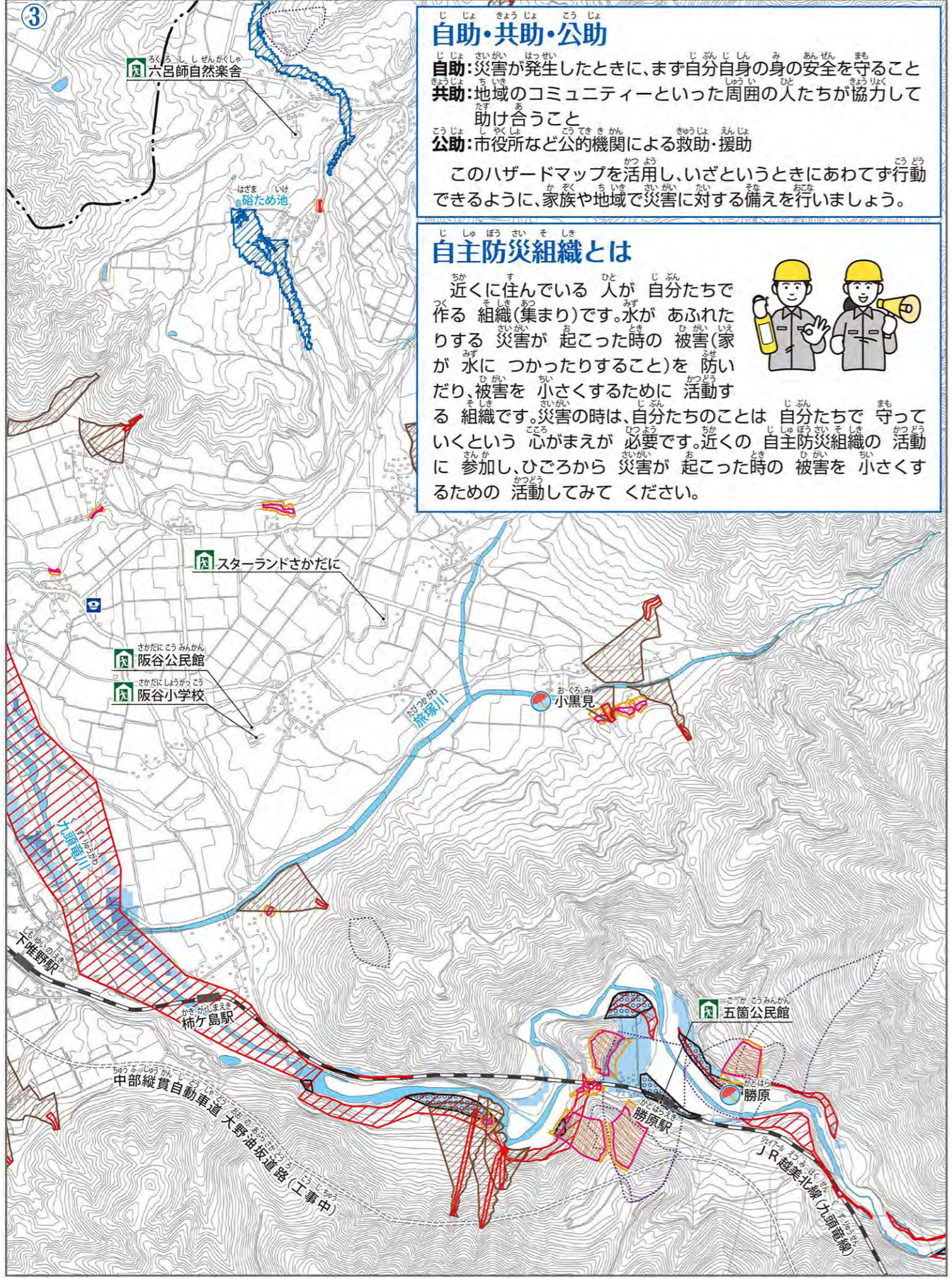
**0.5~1.0m未満**  
 1階以上の水が来ます

**0.3~0.5m未満**  
 1階床下まで水が来ます

**0.3m未満**  
 1階床下まで水が来ます

**垂直避難**

## 浸水継続時間③-④ (水防法で決められた水につかっている時間を載せた図です)




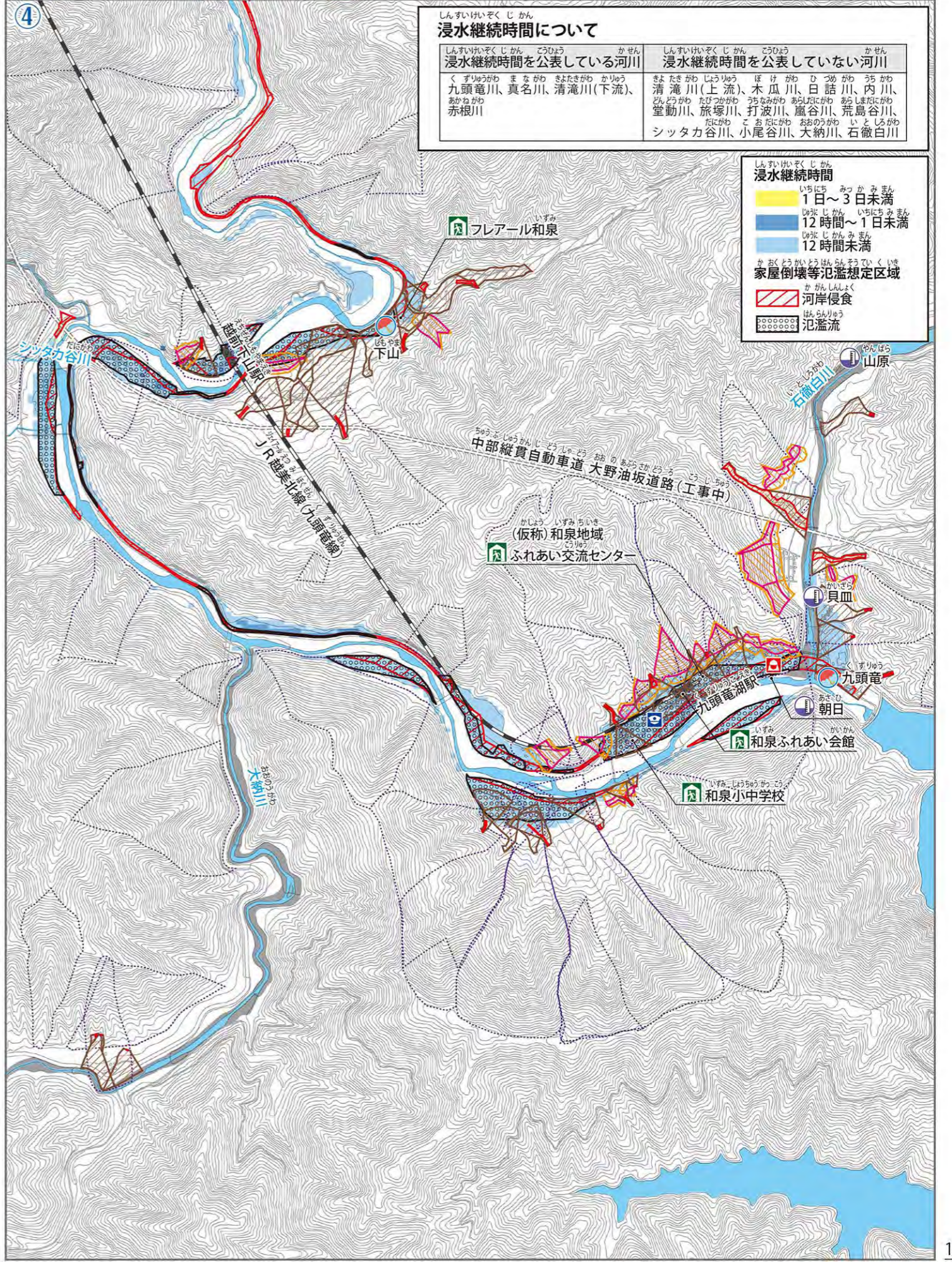
### 自助・共助・公助

**自助:**災害が発生したときに、まず自分自身の身の安全を守ること  
**共助:**地域のコミュニティといった周囲の人たちが協力して助け合うこと  
**公助:**市役所など公的機関による救助・援助

このハザードマップを活用し、いざというときにあわてず行動できるように、家族や地域で災害に対する備えを行いましょう。

### 自主防災組織とは

近くに住んでいる人が自分たちで作る組織(集まり)です。水があふれたりする災害が起こった時の被害(家が水につかたりすること)を防いだり、被害を小さくするために活動する組織です。災害の時は、自分たちのことは自分たちで守っていくという心がまえが必要です。近くの自主防災組織の活動に参加し、ひざから災害が起こった時の被害を小さくするための活動してみてください。

### 浸水継続時間について

浸水継続時間を公表している河川	浸水継続時間を公表していない河川
くずりがわ川、まなか川、清滝川(下流)、九頭竜川、真名川、清滝川(上流)、ほけがわ川、ひつがわ川、うらがわ川、あながわ川、赤根川	まきたがわ川、ほけがわ川、ひつがわ川、うらがわ川、あながわ川、堂動川、旅塚川、打波川、嵐谷川、荒島谷川、シッタカ谷川、小尾谷川、大納川、石徹白川

### 浸水継続時間

- 1日～3日未満
- 12時間～1日未満
- 12時間未満

### 家屋倒壊等氾濫想定区域

- 河岸侵食
- 氾濫流

消防	雨量観測所	ため池浸水想定区域	土砂災害警戒区域(土石流)
ふくいのおいしい水(湧水地)	水位観測所	土砂災害特別警戒区域(急傾斜地の崩壊)	土砂災害警戒区域(地すべり)
警察	河川監視カメラ	土砂災害警戒区域(急傾斜地の崩壊)	土砂災害警戒区域(土石流)
救急病院	重要水防区域	土砂災害特別警戒区域(土石流)	なだれ危険箇所

指定避難所、福祉避難所、市役所

0 500 1,000m  
1:25,000

## 非常持出品

**小さな子どもがいる家では**  
避難所(逃げる場所)では子どものために欲しいものがないことがあります。必要なものを準備しておきましょう。

<input type="checkbox"/> 通帳・印鑑	<input type="checkbox"/> 現金(公衆電話用硬貨など)	<input type="checkbox"/> オムツなど	<input type="checkbox"/> 離乳食・おやつ
<input type="checkbox"/> 衣類・タオル	<input type="checkbox"/> 免許証・健康保険証など	<input type="checkbox"/> 衛生用品	<input type="checkbox"/> 抱っこひも・おんぶひも
<input type="checkbox"/> 軍手・毛布	<input type="checkbox"/> 非常食	<input type="checkbox"/> 粉ミルク・哺乳びん	<input type="checkbox"/> おもちゃ・絵本など
<input type="checkbox"/> 救急医薬品	<input type="checkbox"/> 非常食	<input type="checkbox"/> ラジオ・懐中電灯・電池	
<input type="checkbox"/> 常備薬・消毒液	<input type="checkbox"/> 飲料水(500ml×6本程度)		
<input type="checkbox"/> お薬手帳・石けん			
<input type="checkbox"/> 携帯電話			
<input type="checkbox"/> 充電器			

**非常備蓄品**  
ローリングストックとは、食べ物などを買うとき、使ったら使った分だけ新しく買い足していき、いつも食べ物などを蓄えるようにする方法です。いつもの生活のなかで食べたりしながら蓄えてください。

<input type="checkbox"/> 飲料水	<input type="checkbox"/> アルファ化米
<input type="checkbox"/> 缶詰	<input type="checkbox"/> インスタントラーメン
<input type="checkbox"/> レトルト食品	<input type="checkbox"/> 卓上コンロ・ガスボンベ

## 風水害対策

<b>屋根</b>	<input type="checkbox"/> アンテナがぐらぐらしていないか。	<input type="checkbox"/> トタンがめくけていないか。	<input type="checkbox"/> 瓦のひび割れ・はがれがないか。
<b>ベランダ</b>	<input type="checkbox"/> 植木鉢や物干し竿など、落ちたり飛んだりして危ないものはないか。		
<b>外壁</b>	<input type="checkbox"/> 壁にひびなどがいないか。		
<b>窓</b>	<input type="checkbox"/> 窓枠にがたつきがないか。	<input type="checkbox"/> 雨戸にがたつきがないか。	<input type="checkbox"/> 雨どいに落ち葉などが詰まっていないか。
<b>雨どい</b>	<input type="checkbox"/> 網目のはずれや塗装のはがれ、腐りがないか。	<input type="checkbox"/> 排水溝にごみや土砂が詰まっていないか。	

**家財**  濡れて困るものを、はじめから高いところに動かしているか。  
**その他**  商店などでは看板のぐらつきがないか。  
 貴重品や思い出のものが、すぐにも持ち出せるようになっていないか。  
 ごみ箱や植木鉢などは室内に入れるか、飛ばないようにとめているか。  
 庭木には添え木をしているか。  
 ブロック塀が倒れそうにないか。  
 プロパンガスのボンベが鎖でしっかりとめているか。

## 防災訓練

大野市では、災害を防ぐことが大事だと分かってもらうために、自主防災組織が中心となって避難訓練を行っています。災害に備え、訓練に参加してください。

## 土砂災害で崩れたりする前におきること

<p><b>急傾斜地の崩壊(かけ崩れ)</b> 雨や地震などの影響によって、かけなどが突然崩れてしまうことです。</p> <p><b>次のことがおこったら土砂災害がおきる前かもしれません。危ないと思ったらすぐに逃げましょう!</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 小石がパラパラと落ちている</li> <li>● かけから水が湧き出ている</li> <li>● かけにひび割れができる</li> </ul>	<p><b>土石流</b> 石や土砂が、強い雨などによって水といっしょになって一気に流れ出すことです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 山鳴りがする</li> <li>● 川の水が濁り流木が混ざる</li> <li>● 雨が降り続けているのに川の水位が下がる</li> </ul>	<p><b>地すべり</b> 大雨などでかけが、ゆっくり下の方へ動き出すことです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地面にひび割れや段差ができる</li> <li>● 地鳴りがする</li> <li>● 沢や井戸の水が濁る</li> <li>● 斜面から水がふき出す</li> </ul>
---	---	---

## 土砂災害の逃げ方

急がなければいけないときは、近くの丈夫な建物へ逃げる。木でできた家は、家のなかでかけに一番遠い2階より上の部屋などに逃げる。

## 地震のときの行動

地震は突然やってきます。今、大きな地震が起きたら、どうすればよいか考えてみましょう。また、いろんなときの地震による揺れを考えて、それぞれどうすればよいか家族で話し合みましょう。

**緊急地震速報!**

**地震発生**

① **まず、身を守る**  
まず低く! 頭を守り! 動かない!

② **非常脱出口の確保**  
玄関、窓を開けて逃げるところを作ります。

**揺れがおさまったら つぎの災害の防止**

**靴または底の厚いスリッパを履く**  
倒れた家具等の下敷きになっていないか確認する。

**火を消す**  
ガスの元栓を閉め、ブレーカーを落とす。火が出ていたら、あわてずに早く消す。

**余震に注意しながら 近所の安全確認**

**隣近所へ声かけを行う**  
火災のときには協力して早く火を消す

初期消火  
火事が起こっていたら、大声で他の人に知らせる。消火器やバケツリレーなど近くの人たちで協力して早く火を消す。

**正しい情報を聞く**  
ラジオなどで正しい情報を集める。市役所、消防、警察、自主防災組織などの情報を確かめる。

**電話は緊急連絡を優先**  
災害用伝言ダイヤル 171 (外出先から)

すぐに電話をかけることはしない。電話相手がどうしているかの確認は「災害用伝言ダイヤル」をつかう。

**地域で協力する 応急救護の体制づくり**  
避難後は助け合いの心で行動を

**水・飲料の確保**  
ふだんから1週間分の食べ物と飲み物を蓄えておく。

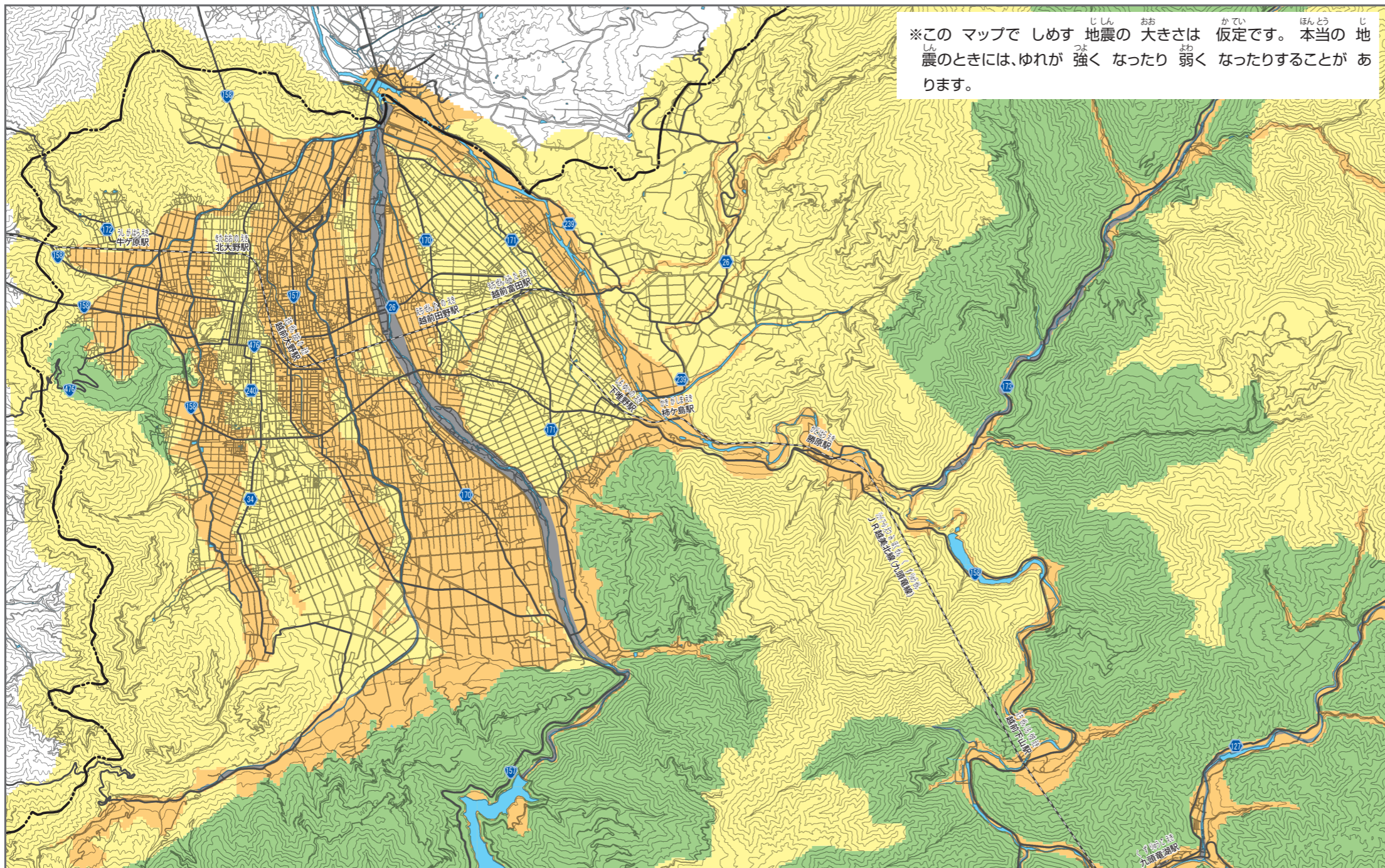
**余震に注意**  
地震の後には余震という強い地震が起きることがあります。気を付けてください。

揺れやすさマップ (大野市の 誰でも おきることが 考えられる 地震の 想定です)

ゆれやすさ (震度)



1:80,000



※この マップで しめす 地震の 大きさは 仮定です。 本当の 地震のときは、ゆれが 強く なったり 弱く なったりすることが あります。

大野市直下の地震

市内のどこかの地点からも、地面の下に4km 潜ったところに 活断層(地震の原因)になるかもしれない 動いている 地面)があるとして、地震の大きさを表す マグニチュード 6.9でいどの地震が 起こった時の ゆれの 強さです。

**震度 7**

- ゆれに 弱い 木で できている 低い 建物 は、傾く もの や、倒れる もの が もっと 多くなります。
- 強い 木で できている 建物でも、ときどき 傾く ことが あります。
- 弱い 鉄筋コンクリートで できている 建物では、倒れる もの が 多くなります。

耐震性が低い (Low seismicity) vs 耐震性が高い (High seismicity)

**震度 6強**

- はわないと 動く ことが できない、飛ばされる こともある。
- 留めていない 家具の ほとんどが 動き、倒れる もの が 多くなります。
- ゆれに 弱い 木で できている 低い 建物 は、傾く もの や、倒れる もの が 多くなります。
- 地面が 大きく 割れたり、山や 斜面が ぐずれたり することが あります。

耐震性が低い (Low seismicity) vs 耐震性が高い (High seismicity)

**震度 6弱**

- 立っている ことが 難しく なります。
- 留めていない 家具の ほとんどが 動き、倒れる もの も あります。ドアが 開かなくなることが あります。
- 壁のタイルや 窓ガラスが こわれま す。落ちることが あります。
- ゆれに 弱い 木で できている 低い 建物 は、瓦が 落ちたり、建物 が 傾いたり することが あります。倒れる もの も あります。

耐震性が低い (Low seismicity) vs 耐震性が高い (High seismicity)

**震度 5強**

- 物につかまらな いと 歩く ことが 難しく なります。
- 棚にある 食器類や 本で 落ちる もの が 多くなる。
- 留めていない 家具が 倒れる ことが あります。
- 強く していない 塀が 崩れる ことが あります。

**震度 5弱**

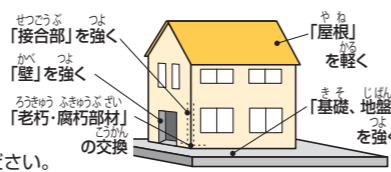
- たくさん の人 が 怖い と 思っ て、物につかまりたい と 感じま す。
- 棚にある 食器類や 本が 落ちる ことが ありま す。
- 留めていない 家具が 動く ことが あり、不安定な もの は 倒れる ことが ありま す。

**液状化現象**  
市内の どこでも 液状化してしま うかも しれないので、注意して ください。  
■液状化現象とは？  
液状化現象とは、地面のすぐ 下に 水が あり、粒の 大きい 砂で できた 地面などが 地震に よって 強く 揺らされると、土の 粒が 水と 混ざって、水のように 柔らかく なることを いいます。大野市には 川沿いに 広がる 低いところ が 多いため、液状化し やすい です。

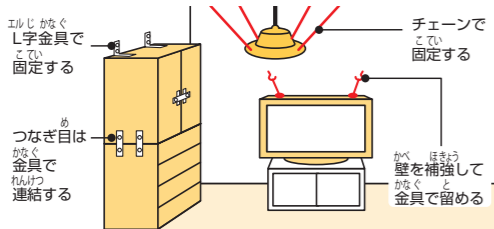
地震対策

木造住宅耐震化

わが家の ゆれへの 強さを 確認して、安心・安全にするために 絵のような 準備して ください。  
大野市では、木で できた家 を 強くする ために 必要な お金を 補助します。  
くわしくは 大野市の ホームページ「木造住宅耐震改修促進事業」を 見て ください。



家具が倒れないように固定しましょう



家具の配置に注意しましょう



家具や テレビなどを 動かないように とめて、 たおれたり 落ちたり しないように します

寝室には たおれそうな 家具を 置きません。  
ドアを ふさぐような 場所に 置きません。